

第1回戦

標題について下記の通り、お知らせします。

記

去る、平成24年4月1日(日)対長吉スターズとの試合は次の通りです

	1	2	3	4	5	計
OBR	0	2	1	0	1	4
長吉スターズ	2	0	0	0	1	3

次戦(2回戦) 対 平野ライセンス
5月6日(日) 15:00~
白鷺公園グラウンド
応援よろしくお祈いします♪

打	守	打席	打数	得点	安打	打点	二塁打	三塁打	本塁打	三振	四死球	犠打	盗塁	失策
1	8 西	3	1	2	0	0	0	0	0	0	2	0	3	0
2	6→1 水本貴	3	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0
3	9 レイノルド	3	3	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0
4	5 上岡	3	2	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1
5	7 福中	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	3 加賀	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
7	1→6 水本廣	2	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
8	2 杉田一	2	2	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0
9	4 岩本	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	控 野崎													
	控 島村													
	控 杉田善													
	計	22	18	4	3	3	0	0	0	4	4	0	7	3

投手	回数	安打	三振	四死球	暴投	自責点
水本廣	4 1/3	3	4	4	0	1
水本貴	2/3	0	1	0	0	0

OBR、鮮やかな逆転勝利!

1回戦。前回大会の無念を晴らすべく、ベストメンバーが集まりました。

先発投手はエース水本廣選手。初回、相手の攻撃。守備の乱れでリズムが崩れ始め、2点を先制されてしまいます。

今回も相手に先制される苦しい試合展開。しかし、前回大会の悔しさを忘れないOBRナイン。すぐに反撃に出ます。4番上岡選手、5番福中選手が連続で出塁するものの後続が倒れ、2死1、2塁。このまま終わってしまうと流れが一気に相手側に行ってしまう状況の中、そこで迎えた8番杉田一選手が見事にライト前タイムリーヒット! 1点を返します。そして、なおも2死1、3塁のチャンス。ここで監督からは盗塁のサイン。OBR得意の機動力野球で相手を攪乱します。この作戦がキャッチャーの悪送球を誘い、ボールがセンターに転がる間に3塁福中選手がホームイン。すぐさま同点に追いつきます。

その後、先発水本廣選手は立ち直り、危なげなく相手打線を抑えます。そして、流れは一気にOBRへ。

3回表。1番西選手がフォアボールと盗塁。2番水本貴選手が鮮やかな3塁線へのセーフティーバントを決め、足を絡めた攻撃でチャンスを作ります。そして、迎えたバッターは3番レイノルド選手。最近の打撃不振を一気に振り払う、目の覚めるようなライト前タイムリーヒット! 1点を勝ち越します。

さらに5回表にも杉田善監督の積極的な采配は変わりません。出塁すれば走る。たとえ失敗しても走る。しつこいまでの攪乱戦法から相手の守備もとうとう集中力を切らし、さらに1点を追加。

そして、最終回。相手チームも意地を見せます。OBR、無死1、2塁のピンチ。ここで、監督、内野守備陣がマウンドへ。継投を含めた話し合いを済ませ、守備に戻ります。振り返ると、あのタイムは相手の流れをくい止め、味方守備陣の気持ちを一つにさせるという絶妙なタイミングでした。

結局、1点は返されましたが、その後、リリーフした水本貴選手がきっちり抑え、4対3で1回戦を突破しました。

鮮やかな逆転勝利の一方で、やはり反省点も残ります。今回記録した失策は3。ミスから相手チームに流れが移ってしまうことも多くありました。次に対戦するのは強豪平野ライセンス。このようなミスは命取りになるでしょう。

勝つかぶとの緒を締め、次の試合に気持ちを切り替えていきたいと思ひます。

※選手の皆様へ 毎試合前日には、監督、コーチ陣が集まって作戦会議を行っております。故障等で体調が思わしくない場合は前々日までには連絡くださるようお願いします。

OBR野球部監督 杉田善久



